



The CAE utilization current status in automotive parts development
自動車部品開発における CAE の活用状況について

FUJI KIKO Co.,Ltd / Makoto Hasegawa
富士機工株式会社 / 長谷川 誠

Abstract

弊社は 1944 年創業開始より 78 年の歴史があり、1954 年自動車部品の製造開始となる。以降、現在に至るまで自動車部品のユニット企業として、素材の一次加工から調査までを一貫して結ぶ専用ラインが存在する。

また、自動車の技術進化に伴う製品開発の中で、1990 年 CAE によるデジタル技術開発への取組みを開始。

2001 年 PAM-CRASH を導入し、衝突解析、挙動解析など、製品に特化した解析手法を構築し、製品設計に役立てている。

今回、弊社が提供するステアリングコラム、A/T シフター、ドライブプレート、その他での CAE 活用状況について御紹介する。

- ・ステアリングコラム / 落錘解析 / 挙動解析
- ・A/T シフター / インスト衝撃解析
- ・ドライブプレート / バースト解析
- ・その他 / 組立て工程不良再現、対策事例